

# かいたく

教会のない地域に教会を 刈り入れ場に働き人を

珠洲市馬縹町にある大崎島  
今回の地震で海底が隆起したため  
現在は陸続きになっている



「…わたしは天と地を揺り動かし、もろもろの王国の王座を倒し、異邦の民の王国の力を滅ぼし尽くし…」(八ガイ書二章二十一〜二十二節)  
バビロン捕囚後のイスラエルは、捕囚前のように神殿を回復させる術や力がないだけでなく、その意欲もありませんでした。神殿の基礎を完成させたにもかかわらず、敵の妨害で十数年も工事が中断しました。民からは「時はまだ来ていない」「(一章二節)と先延ばしにする言い訳が次々と出て来ます。焼失した神殿の姿を知っている年配者たちは、再建現場にいながら「あの再建は無理」と決めつけ、やる気のない状態です(二章二節)」。民の中に神のことばと力はありません。ですから預言者ハガイは再建計画の出所を「万軍の主はこう言われる」と繰り返し伝えます。それでも民は状況に左右され、神を全能者と信じていることができません。神はそのような民にご自分が世界の歴史を支配し、最終的にメシア的な王国をもたらすと預言を告げます(二章二十一〜二十二節)。「もろもろの王国の王座を倒す」つまりそこにある政權、制度を主がごとく壊されるのです。今、目に見える諸々のものが揺り動かされ、倒されつつあるところではないでしょうか。世界的パンデミックにおいて、また先の能登半島地震においても、人知、人力をはるかに超えたことが起こりました。世界は既に従来の政權、制度が通用しないところに置かれつつあります。みことばに基づくならば、それは後に来る(完成する)神の国のために、地上のかたちあるものが倒されるという事です。そういう意味では終末における福音宣教も賢く適用させなければなりません。被災地において、従来の宣教が通用するのだろうか。被災地の教会の先生方との交わりを通して考えさせられました。  
6月3日に最大震度5強の地震が能登を襲いました。5月末の訪問は時宜になかったものだったと主を恐れました。万軍の主のことばと力を信じ続けていきたいものです。

JBBF国内宣教委員会委員長・井口拓志

かいたく 2024年7月発行 第92号 発行元:JBBF国内宣教委員会 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉4696-27 編集責任:井口拓志 デザイン:窪田健次

2024年10月4日(金)・5日(土)

## 国内宣教カンファレンス 2024 今、福音にふさわしく生きる ～神の国の市民として～

説教者:孫 武師(調布聖書バプテスト教会)



昨年のカンファレンスの様子

終わりを感じさせる時のうねりの中で、変わることはない福音を宣べ伝える責務を覚えます。また、「働き手が少ない」と言われた主のご命令に応えるべく、「働き手を送ってくださるよう」に益々願う者です。国内宣教委員会は、そのような宣教に仕える先生方が交わる場として「国内宣教カンファレンス」を開催しています。また、そこに献身者が起こされることを願い、諸教会の兄弟姉妹たちをご招待しています。2024年国内宣教カンファレンスを以下にご案内いたします。奮ってご参加ください。スケジュール、申し込み等は改めてご案内いたします。

会場: 日本バプテスト聖書神学校チャペル(ライブ配信は行いません)

参加費: 大人2,000円(18才以上) ※高校生以下は無料です ※宿泊費・食費は別途

宿泊: 神学校、グレースキャンプ場、周辺ホテル

補助: ①宿泊費補助 ホテル利用者に3,000円補助

②交通費補助 申告された方に上限15,000円

### 能登支援ボランティアのお知らせ

東日本大震災の時にボランティア支援をさせていただいたS.E.G(災害援助グレイス)の主催により、被災地におけるボランティア支援の計画が立てられています。ご協力くださる方がおられれば、フォームから申し込んでください。お問い合わせは鹿毛愛喜先生までお願いいたします。

日程: ①8月5日(月)～9日(金)

②9月2日(月)～6日(金)

定員: 8名(①②いずれも)

※最少催行人数5名

支援場所: 能登町(能登聖書教会関連で受け入れを検討中)

条件: 牧師の承諾、高校生以上

責任者: 鹿毛愛喜(港北ニュータウン聖書バプテスト教会)

協力: 鄭永健(滝山聖書バプテスト教会)

浜田献(清水聖書バプテスト教会)

### 【訂正】

かいたく第91号の「能登地震にかかわる支援金について、諸教会から感謝の声が届いています」の項(裏表紙)で、「…マハー宣教師を中心とする支援チーム(能登ヘルプ)…」とありますが、マハー宣教師は「能登ヘルプ」に加わっていません。支援献金はマハー宣教師を通して能都聖書教会、門前聖書教会の関係者に用いられています。お詫びして訂正いたします。

### 問い合わせ先

電話: 045-532-6552(教会)

メール: aiki.gal522@gmail.com

### 申込フォーム

<https://forms.gle/VatyXo4DWZjKWRhNA>



### 【お知らせ】

今号、上田晃師の連載「イエス・キリストの恩寵の中で」は休載します。次号(93号)にて再開予定です。

献金振込先(郵便振込)  
00140・2654375  
JBBF国内宣教委員会





# 能登半島地震被災地訪問記

国内宣教委員 井口 拓志

## はじめに

国内宣教委員会は5月20日（月）から23日（木）にかけて能登半島地震被災地を訪問しました。目的は支援献金をお送りした御宅を訪問すること、三か所の避難所に支援助物を届けることです。参加者は井口委員・疋田委員の2名と現地の出身者である上田晃師が同行。初日は斎藤秀文師にも同行していただきました。1日目に珠洲市の宝立町（ほうりゅうちょう）・折戸町、2日目に馬繰町（まつなぎちょう）・大谷町・飯田町をお訪ねしました。上田師のご実家が馬繰町にあり、同師の案内により珠洲市への訪問が可能となりました。3日目には能登町にある能都聖書教会と名古屋教会員のご実家のある穴水町前波、輪島市門前町にある門前聖書教会を訪ねました。

## 被害状況

能登半島地震における被害は、地震の揺れ、山崩れ、津波による三重の被害があります。

### ①地震の揺れ

地震の揺れにより損壊した家は能登瓦（のとがわら）と呼ばれる瓦を使用した築年数の古い建物が多かつ



倒壊した能登瓦の家屋

たようです。築百年を超える家屋が多く、能登の厳しい冬の寒さに耐え得るように造られています。そのため能登瓦は風に飛ばされたり、冷え

で亀裂が入ったりしないよう、厚く強く造られています。百年以上経っても使われている建物は丈夫だそうです。しかし、地震の少ない地域と

いうことで、揺れを想定しては建てられていません。それらの家は上から押しつぶされるようにして損壊していました。

### ②山崩れ

道路の寸断を余儀なくした山崩れは、海沿いにしても、内陸側にしても規模の大きさに驚きを隠すことができませんでした。私たちは道路の改善が見込めない部分も多々あるとの想定で、車中で対応できる食事の用意等しましたが、ほとんどの道路が一時的に通ることのできる状態でした。崩落した片側部分を直下に見ながら道路を通り抜け、単なる岩



能登半島に入ると、所々に崩落した道路が見られる





白く見える岩肌は地震前は海中だったところ。外浦の海岸は各地で海底の隆起が見られる。海の青さと岩肌の白さのコントラストが痛ましい。(珠洲市馬縹町赤神)



岩肌の白い色は海底にあった海藻が乾燥したもの



この砂浜もほとんどが海底の隆起によってできたとのこと(珠洲市馬縹町鰐崎)

々が防波堤となり、押し寄せて来た津波から守られたことを真剣な面持ちでお話くださいました。聖書には山を動かし、海を動かされる力のあ

る神がおられることが記されています。書かれたまを信じていますが、一つの実事として受け止められ

る瞬間でした。動かし難いものを動かすことのできる神が、最も動かし難い頑なに人の心をも動かし

てくださることを願う瞬間でもありました。この隆起は珠洲市から輪島市にかけて広い範囲で起こっています。漁船の船着き場である港の全面が陸地と化してしまい、どのようにして復興させるのだろうかと思像がつきません。海岸に沿って、海底の地殻変動による深度の変化を調査する調査船がゆっくりと行き来していました。



山の斜面が崩れ落ちた場所(珠洲市大谷町)

仮設住宅にお住まいの方が仰っていました。地震前に3日間、地鳴りが続き、地震直後に山が動いたと。地鳴りに恐怖を覚えて逃げられた方々もおられたそうです。上田師の従弟の方に珠洲市大谷町の被災場所を

というよりも山の一部分と表現したほうが相応しいほど巨大な岩を避けた迂回ルートを通りました。ただし、それらの道路は緊急車用で、一般車

両は通行禁止です。工事、ボランティア等の関係者のみの通行となっています。



宝立小中学校に併設された仮設住宅(珠洲市宝立町)

案内していただきました。指をさす方向には木々の間にこんもりとした山肌が見えます。すでに家を撤去されたのかと思います。尋ねたところ、家ごと埋まり、お二人の方が亡くなられたとのことでした。小学校があったところで、山の斜面とグラウンド諸共に崩れ落ちたとのことでした。

### ③津波

珠洲市では、能登半島の日本海側を外浦(そとうら)と言い、富山湾側を内浦(うちうら)と呼んでいます。津波の被害が多かったのは内浦の方です。外浦の海沿いは海底が隆起したため、津波が押し戻されたので、被害は最小限に抑えられたそう



特に被害の大きかった場所。近くにあるスーパーも倒壊(珠洲市大谷町)



です。上田師の従弟の家は外浦の目の前にあり、地震直後に海底が隆起する様子をご覧になっていました。数秒のうちに海の中から岩や砂浜が出現したとのこと。隆起した岩



## 避難所

今回、珠洲市にある三つの避難所をお訪ねしました。内浦にある宝立町の「宝立小中学校」。外浦にある馬縹町の「自然休養村センター」と大谷町の「大谷小中学校」です。児童数の減少により、小学校と中学校が合併したのが「小中学校」です。外浦にある二つの避難所には震災当初、約300人の方々が避難しておられたようですが、現在は合わせて80名ほどと伺いました。各避難所がある地域は震災から5か月を経過した今でも水道が復旧しておらず、非難されている方は自衛隊の給水車によって生活しておられます。私たちは救援物資として卵（130パック



自然休養村センター(珠洲市馬縹町)



大谷小中学校(上田師の母校)

と殺虫剤(2ケース)を持って行きました。町の中心にあるスーパーに卵は売っていますが、震災により流通がスムーズでないため、個数が少なく、値段も1パック343円(税込)と高いです。また、避難場所に蚊が出始めたとのことで、殺虫剤を用意しました。その他に水道配管の詰まりを直すパイプユニッシュ、クッキングペーパー、クッキングシート、韓国のみ、カレールウなども用意しました。これらの物資は被災地に出発する直前まで、現地の責任者の方と連絡を取り合って準備したものです。避難所の必要品は絶えず変化しているため、小まめなやり取りが必要です。ちなみに現地のスーパーにあるキャベツは一玉626円(税込)でした。当初は葉物野菜も

持って行く予定でしたが、生鮮ものは保つ時間が短いため断念いたしました。



責任者の方からお話しを伺う(上田師の後輩)



体育館が避難所として使われている  
段ボール製のベッドが並ぶ

## 生活

「生活に何が必要か？」と支援する側は心を配りますが、被災された方とはとにかく「落ち着きたい」と仰っていました。住まい、水、仕事がない生活を想像することすらできません。その一つだけがない状況でも心が大きい騒ぐのではないのでしょうか。それらが整わないことで家族が分断されていることを心苦しくお話しくださいました。見たところでは、被災地のほとんどの家屋が手つかず状態でした。復興の遅れが被災された方の落ち着ける場所と心を益々奪い取っています。

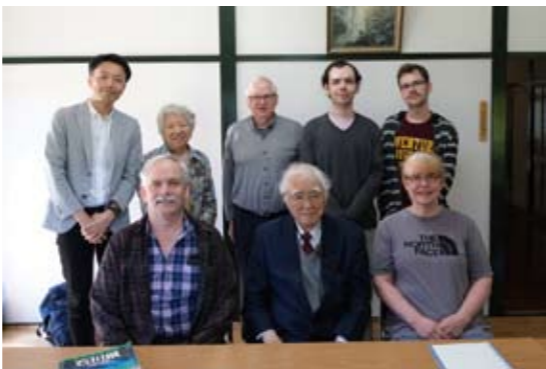
神は人を人格的に関わるように造られています。それは人の生きる本質であり、そこが奪われるようなことがあると、「落ち着かない」を超えて、心が折れてしまうのかもしれない。避難直後は緊張状態のため気が張っていても、生活が少し落ち着いてくると、精神的に不安定になると聞いたことがあります。最も必要な支援は人格的に関わることなのでしょう。霊的が必要が満たされるため、支援献金、ボランティア等の必要が満たされるために各地の教会が用いられることを願います。

## 被災地教会訪問

金沢聖書バプテスト教会のマハー宣教師夫妻(ジョン&満枝)にご案内いただき、能登町にある能都聖書教会/ニッカーソン宣教師夫妻(ドン&ロレイン)と、輪島市門前町にある門前聖書教会/トラス宣教師夫妻(ブルース&美保)を訪問しました。それぞれ開拓当初からBBFの牧師たちと交わりがある教会です。いずれの教会も建物の躯体(くたい)を痛める損傷はなく、雨漏りと玄関ポーチ部分の亀裂程度とのことでした。門前聖書教会のすぐ近くにある大本山總持寺(そうじじ)は2007年にあった能登半島地震の被害を受け、億単位の修復を終えたばかりとのことでした。今回の地震で17



能都聖書教会(能登町)



ニッカーソン宣教師ご家族

年前に逆戻りです。長期の無牧時代を経て、トラス宣教師夫妻が導かれた門前聖書教会は、この震災を通して、さらに人々と関わりを持つようになったとのこと。トラス宣教師の持つ配管、電気、大工の技術が生かされ、被災した地域からは修理依頼で引っぱりどころです。奥様の美保宣教師は、地域の方々が対話を求めていることを知り、教会で気軽にお話ができるように無料のカフェのようなものを始めたいと仰られています。トラス宣教師も、ドン宣教師も震災被害の支援活動に忙しくされていますが、その働きを通して、キリストの福音が益々宣べ伝えられるように願います。

マハー宣教師が現状を踏まえて、



門前聖書教会(輪島市門前町)

2つのことを言っておられました。①「能登に今必要なのは霊的な必要と同時に人々の住まいです。トレーラーハウスは、日本でもだいぶ知られるようになりました。実際、能登でもいくつか見られます。普通の家を建てるよりも安い費用で、固定資産税もかかりませんし、自分たちで建てることも可能だと思います。そのような働きに興味を持たれる方はいいでしょうか？」②「能登の志賀町に一人の教会の姉妹が所有する400坪の土地があります。姉妹はその土地を宣教の働き(教会に限定せず)のためにお献げしたいと願っています。温泉付きの別荘地です。BBFの諸教会で、そのような働き

に重荷を持たれる方はいないでしょうか？」果たして復興を望むことは可能かと言われるほどの被害を被った能登半島は、既存の宣教地とはまるで違います。そこに応じた宣教がなければならぬと、むしろ考えることのほうが賢明でしょう。被災地に限らずコロナ後の各地の宣教においても、新しく造り出していく宣教の必要を覚えます。



トラス宣教師ご夫妻







海底の隆起がよくわかる海岸。白いところは地震前は海中だった



以前、漁港だったところ。隆起により使用不可に



市の指定文化財がある神社の社務所



道路に大きな亀裂が入り、段差ができています



### 馬縹町 (まつなぎちょう)

### 大谷町

山から流れる大谷川沿いと沿岸部に家が立ち並んでいる。震度6強を記録した2023年6月の奥能登地震は耐えたものの今回の地震では広範囲にわたって大きな被害を受けた。

### 折戸町

今回の宿泊先「木の浦ビレッジ」がある町。部屋はすべてボランティア客で埋まっていた。通常、市外からの受け入れは行っていないが、上田師ご親族の方の協力により、特別に宿泊させていただいた。



木の浦ビレッジから見る隆起した海岸と山崩れ



### 飯田町

奥能登地域の最大の港である飯田港を擁する町。津波の被害があった地域。町内のスーパーやコンビニは復旧していたが、ボランティア客が多いせいか、弁当類はほとんど売り切れ状態。

### 宝立町(ほうりゅうちょう)



宝立小中学校。自衛隊の給水車が見える。津波の被害があった地域。

### 門前聖書教会



### 能登町

### 能都聖書教会



### 輪島市

### 穴水町

### 珠洲市

### 飯田町



# PRAYER

## 伝道所の祈りの課題 2024



松江聖書バプテスト教会  
(柳谷 徹先生・洋子先生)

- ①教会近隣の方や子供たちに、救いが与えられますように
- ②救いの決心をされた方々が、リバイバルされ集会に集えま
- ③教会に集っている魂が更に成長され、教会形成がなされま



瀬戸内聖書バプテスト教会  
(澤 清嗣先生・のぞみ先生)

- ①本年中の教会独立の実現の
- ②青年たちの信仰成長と将来の結婚の導きのために
- ③「こども食堂いちわのすずめ」の活動を通して神の栄光を現
- ④求道者の救いとバプテストの導きのために



甘木聖書バプテスト教会  
(吉澤 孝夫先生・のり子先生)

- ①バプテスト準備中の姉妹、信仰告白され、学びを続けている姉妹のため、お祈り願
- ②牧師夫妻の学校の福祉授業の講師、施設を訪問しての音楽ボランティアの活動が

国内にある伝道所のためにお祈りください



葛城聖書バプテスト教会  
(森 善男先生・幸子先生)

- ①新来者が与えられるように(5月に1名の男性が与えられました)
- ②教会から離れておられる兄弟のために(定期的に電話連絡があります)
- ③英語クラスの方々の救いのために(熱心に質問する方がいます)
- ④公園(子供)伝道のため
- ⑤新会堂が与えられるように



上田聖書バプテスト教会  
(小川 淳司先生・理子先生)

- ①教会の独立のために
- ②伝道新聞「キリストの福音」の発行、配布のために
- ③日曜学校の生徒が継続して日曜日に来会できるように
- ④教会行事に来会している高校生たちの礼拝出席
- ⑤信仰告白者がバプテストに導かれ、教会に加えられるように
- ⑥献身者が起こされるように
- ⑦教会墓地のために



習志野バプテスト教会  
流山伝道所  
(青島 義宣先生・洋美先生)

- ①青島伝道師の按手、流山伝道所の教会組織のために
- ②教会員やその家族の病気の癒しのため
- ③日曜学校・ティーンズバイブルクラスの祝福のために
- ④まず一人の人が救われますように
- ⑤伝道所の経済がささえられますように



※清水教会員の兄弟・新来者の方々と  
千本浜聖書バプテスト教会  
(道下 義嗣先生・直子先生)

- ①経済的独立のための準備が進められるように
- ②伝道所に関わる兄弟、また関係者に、神の栄光が示され、恐れを覚えるように
- ③御霊に導かれ、礼拝、特に説教をお捧げできるように